

ゾネット ぽれぽれ

11月に移転した『ゾネットぽれぽれ』は、大曽根商店街(オズモール)西側から入って1分。大通りから少し離れたビルの1階にありました。ここは目的にとらわれない自由な空間。今回、新しくなった『ゾネットぽれぽれ』についてご紹介します。



リニューアル
OPEN
移転しました

オープンキッチン(右)・作業(左)スペース



畳スペース



くつろぎスペース



一人スペース

新しい『ゾネットぽれぽれ』は、好きな空間で自由に過ごすことができるよう、部屋全体が緩やかに5つの空間に分かれています。「何かのついでや、来たい時にいつでもお越しいただけるよう、連絡も予約も必要ありません。サポートを必要としている方だけでなく、サポートしている方にも来てほしい。」と職員の竹下さん。居場所として一緒に時間を過ごしたり、職員さんに生活の困りごとの相談もできるそうです。『行ってみようかな』と思い立った時、ぜひ足を運んでみてください。

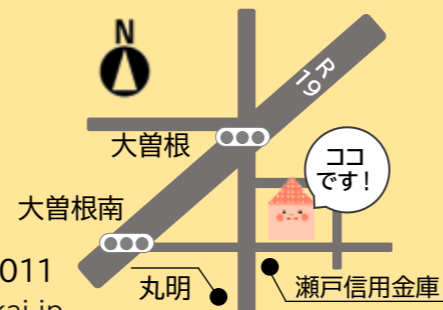
(登録料不要。昼食実費負担。イベントによって材料費がかかる場合あり。見学や体験利用可。)

こんな方が
利用して
います
病気や障がい困っている 生きづらい
どこにも居場所がない ひきこもっている
誰かを支えている これから誰かを応援したい



ビル内の赤い看板が目印

ゾネットぽれぽれ
(地域活動支援センター)
■開所時間:10~19時(日曜休)
〒462-0825
北区大曽根2-3-5
サン大曽根1階
電話:508-6021 FAX:508-6011
メール:porepore@wappa-no-kai.jp



北区の、あなたに、届けたい。

ちいきとニュース

令和5年2月発行
45号

目次

- 1 点訳ボランティア北コスモス会 30周年
- 2 ところに寄り添うボランティア かけはしのサロン紹介(あなたの居場所・学び集える場)
- 3 特集:ここで買えるよ!自主製品 楠メンタルホスピタルデイケア スマイル工房
私の好きなことばリレー【第37回】北区社会福祉協議会 佐野主事
お絵かき辞典14(うさぎ)
- 4 ゾネットぽれぽれ リニューアルオープン



『点訳ボランティア北コスモス会』30周年

今年度、『点訳ボランティア北コスモス会』が30周年を迎えました!。北コスモス会は毎週火曜日、総合社会福祉会館6階点訳室で点訳活動を行うボランティアグループです。広報なごや北区版、本会広報誌ふれあいきた、新聞記事などを点訳、点字印刷し、利用を希望される北区の視覚障がい者に月2回郵送しています。また、利用者との交流会開催、小中学校の福祉体験学習、きた福祉フェスティバルでの福祉体験スタンプラリーなども行っています。現在活動しているのは7名。立ち上げ当初のメンバーは残っていませんが20年以上継続されているベテランメンバーが中心となり、点字を楽しみにしている方々のために活動されています。

長年ボランティアを続けてこられたのは、点訳作業は自宅で自分のペースでやれることや、必要な器材の援助があったり会場費負担なくやれたことなど、活動条件に恵まれたことが大きいです。また、点字をただ届けるのではなく、利用者さんとの顔の見える関係づくりを行うことで、双方が相手の存在を感じられたことも活動の励みになっています。

(会員さんたちの声より)



点訳室で活動中!



きた福祉フェスティバルでの点字体験コーナー

発行:北区社会福祉協議会 電話:915-7435 FAX:915-2640

住所:〒462-0844 北区清水4-17-1 北区在宅サービスセンター内

ここで買えるよ!
**自主製品
情報**
19号

自主製品を購入できる場所と団体情報を発信するコーナーです

スマイル工房 (楠メンタルホスピタル デイケア)

特集

デイケア内のプログラムとして始まったスマイル工房は、物づくりが好きな方が集まり、ポーチやコインケース、ポシェット、スマホケースなどの布製品やマスクチャームなどを制作しています。



スマイル工房で商品を製作

プチサロンやメンタルネットきた関連イベントなどで販売を行っています。出張販売のご依頼は、下記連絡先までよろしくお願いします。

■ 楠メンタルホスピタルデイケア スマイル工房
担当：橋本(看護師)

住所：〒462-0011 北区五反田町110 電話：901-7581



プチサロンふくちゃん
きたちゃんでの出張販売

つ な ぐ つ な が る

ここに寄り添うボランティア

かけはし

精神保健福祉ボランティアグループのサロン紹介

“ここに寄り添うボランティアかけはし”は、平成18年より活動している精神保健福祉のボランティアグループです。今回は活動の中からサロン(居場所)型の活動を2つご紹介いただきました。

学び集える場

『精神障がい者の当事者・家族や地域の支援者が学び集える場』として、平成29年11月よりスタート、6年目に入りました！ここは精神障がいやその支援について、またリカバリー(回復)や心の健康についてなどを様々な形(資料、ゲストのお話、関連番組録画の視聴など)で学ぶ場。そして、悩みを一人でためこまず、想いを持つものが集い安心して吐き出せる場・語り合える場。こんな場が北区に定期的にほしい！との思いで始め、続けています。学びのテーマは参加された皆さんの希望を聞きながら進めています。当事者やご家族はもちろん、精神保健福祉に関心のある方大歓迎！どなたでもご参加いただけます。ぜひあなたもどうぞご参加ください。



開催日にはいつも掲示

- 日時：奇数月の第4土曜 13時半～15時半
- 場所：北区在宅サービスセンター(北区社協)研修室にて

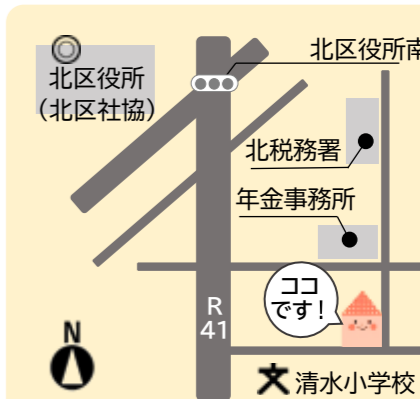
あなたの居場所

もうひとつは、令和4年10月よりスタートしたばかりの『あなたの居場所』。こちらは、心の病であるかどうかは問いません。生きづらさを感じていたり、人とつながりたいけどちょっと難しいと感じていたり。そんな方が自分のペースで利用できる居場所、ホッとできる時間をと考え運営しています。出入りも過ごし方も自由です。どうぞ扉を押してください。

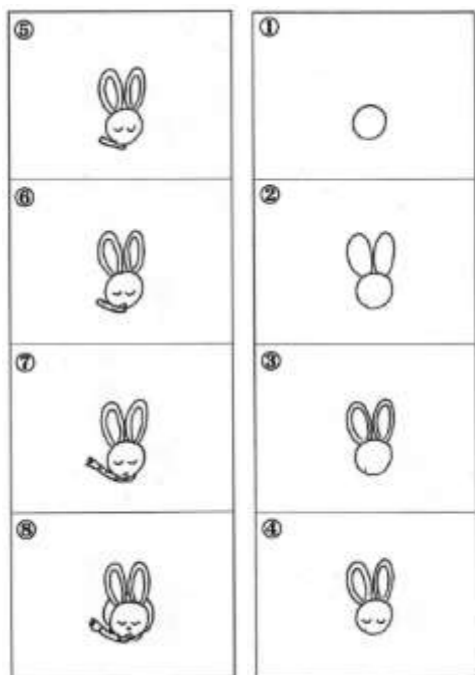
- 日時：毎月第2第4金曜 10時～12時 (出入り自由)
- 場所：ほっとはあとルームにて (清水5-5-19 清水プラザ東棟1階)
・ 北区役所より徒歩約5分
・ 地下鉄「黒川」駅より徒歩約10分



喫茶店風の居場所です



う さ ぎ



お絵かき辞典

その14

自分で絵を描くのが苦手でも、順番に書いていけばステキな絵が完成します。楠学区にお住まいの楠三郎さん(ペンネーム)によるお絵かき辞典。

「ごめんなさい」「ありがとう」より

高校の頃、飲食店でアルバイトをしていた時、いくつかミスが重なり、自然と「ごめんなさい」と謝る回数が多くなっていました。その時に、謝るのも大事だけど、それ以上にフォローしてくれた人への感謝も必要だよと、言われました。当時はあまり言葉の意味を理解できていませんでしたが、社会人になって改めて大切な考え方だと実感しています。これからも心掛けていきたいです。

アルバイト先の店長さん

第36回私の好きなことばリレー
北区社会福祉協議会
主事 佐野 慎二 さん

